

※記入例2

令和 ○ 年度

※ 所有者コード	※ 種類別明細書（増加資産・全資産用）	所有者名	1 枚のうち
00012345		黒部株式会社	1 枚目

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額(イ)				耐用年数	減価残存率(ロ)	価額(ハ)				※課税標準の特例		※課税標準額				増加事由	摘要
					年号	年	月	十億	百万	千	円			十億	百万	千	円	率	コード	十億	百万	千	円		
01	1		駐車場舗装	1	4	31	3	5	500	000	10	0.										①・2 3・4			
02	1		駐車場フェンス	1	5	1	5		380	000	10	0.										①・2 3・4			
03	1		看板（広告塔）	1	5	1	7		300	000	10	0.										①・2 3・4			
04	6		パソコン	1	4	31	3		170	000	4	0.										1・2 ③・4			
05	6		応接セット	1	4	31	4		800	000	8	0.										1・2 3・4			
06	6		冷房用機器	1	4	31	4		100	000	6	0.										①・2 3・4			
07												0.										1・2 3・4			
08												0.										1・2 3・4			
09												0.										1・2 3・4			
10												0.										1・2 3・4			
11												0.										1・2 3・4			
12												0.										1・2 3・4			
13												0.										1・2 3・4			
14												0.										1・2 3・4			
15												0.										1・2 3・4			
16												0.										1・2 3・4			
17												0.										1・2 3・4			
18												0.										1・2 3・4			
19												0.										1・2 3・4			
20												0.										1・2 3・4			
小計				6				7	250	000															

記入する必要はありません

「年号」
昭和→3
平成→4
令和→5

資産を取得するために支出した金額
（付帯費を含む）を記入してください。

記入する必要はありません。ただし、
自社電算システム等により申告を行
う場合は記入してください。

<記載方法>

- 資産の種類
「1 構築物」、「2 機械及び装置」、「3 船舶」、「4 航空機」、「5 車両及び運搬具」、「6 工具・器具及び備品」の資産の種類に対応する1から6までの数字を記入してください。
- 資産の名称等
資産の名称及び規格等を記入してください。
- 数量
資産の数量を記入してください。
- 取得年月
資産を実際に取得した年月を記入してください。
なお、年号については、1 明治、2 大正、3 昭和、4 平成、5 令和とし、それぞれの年号に対応する数字を記入してください。
- 耐用年数
減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1、別表第2、別表第5及び別表第6に掲げる耐用年数を記入してください。
中古資産について、見積耐用年数によっている場合はその耐用年数を、国税局長の承認を得て短縮耐用年数によっている場合はその耐用年数を記入してください。（短縮耐用年数を適用している場合は、「耐用年数の短縮の承認通知書」の写しを添付してください）
- 増加事由
資産が増加したことについて、該当する増加事由の番号に○を付けてください。
- 摘要
当該資産について、次のような事項を記入してください。
① 課税標準の特例がある資産について、その適用条項
② 割賦販売資産等地方税法第342条第3項の規定の適用がある資産については、その旨の表示と売主の名称等
③ 耐用年数の変更があった場合にはその旨の表示
④ 短縮耐用年数を適用している資産についてはその旨の表示
⑤ 増加償却を行っている資産についてはその旨の表示
⑥ その他当該資産の価格の決定にあたって必要な事項